

平成30年度 麻生高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	法令違反や違法薬物などの使用は、高い倫理意識を求められる教育公務員としてあってはならないことであり、職員行動指針の内容を改めて周知徹底し、公務外非行を防止する。	職員研修会で地方公務員法を始めとする関連法規の確認を行い、過去の事案等を紹介することで法令遵守・教育公務員の身分や行動指針等を再確認し、意識の向上を図った。概ね目標は達成できた。
セクハラ、わいせつ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を防止するため、自己啓発を徹底する。	職員研修会でセルフチェックシートを活用しながら、セクハラに対する認識を深めることで人権意識の向上を図った。また、教科準備室内を可視化するためにレイアウトを点検する等して、生徒と個人的に対応することのないように徹底した。概ね目標は達成できた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒への体罰、不適切な指導防止のため、常に生徒理解に努め、人権尊重に基づく適切な指導が行われるように自己啓発を徹底する。	職員研修会を複数回開催し、過去の事例の紹介やセルフチェック等を行い、自分の行動や傾向を再確認した。また、アンガーマネジメントの手法を学ぶことで感情に左右されずに、人権意識をもって指導に当たることを確認するなどして自己啓発を行うことができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	生徒の成績処理、進路関係書類の作成にあたり点検を徹底し、事故防止のための体制作りを行う。	職員研修会を複数回開催し、更にそれぞれの関係業務の直前に点検方法等について十分な確認を行った。成績処理については生徒による事前の数値確認を導入、表計算ソフト使用時の関数点検の励行、調査書作成時には点検方法を明示した作業マニュアルの作成等を実施した。また入学者選抜についても絶対ミスが許されない中で、確実な点検ができるように作業ごとにきめ細かく手順を明示した。事故防止のための体制の整備を進めることができた。

○ 平成30年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

職員の事故防止に対する認識は深いものがある。上記の4点は特にあらゆる場面で再確認をしながら肝に銘じて心がけるように取り組んだ項目であり、1年間に亘り概ね達成することができた。この他にも生徒への体罰・不適切指導の防止、生徒の個人情報の扱い、私費会計処理に関して等、職員研修会に加え日常的に注意を喚起することで事故防止に取り組んできた。

平成31年度も生徒の人権尊重や個人情報の管理、正確で適切な成績処理等について引き続き研鑽を積むことで、本校で不祥事を起こさせない取組を進める。